



## 遠足

4月28日(金)に遠足を実施しました。1年生は全クラスで望楼の芝でBBQ、2年生は全クラスで白浜アドベンチャーワールドへ、3年生は、A組は那智大社、BとC組は串本海中公園、D組は古座川の河原でBBQをしました。

2年生は、クラス別でイルカとのふれあいやライオンのえさやりも体験しました。ほとんどの生徒が初めての経験で、少し緊張しながらも楽しくひとときを過ごすことができました。BBQは経験者が多いので、前日の下ごしらえから当日の火熾しまで、どのクラスも手際よくこなしていました。一部では熾烈な肉の争奪戦も、行われたようです。

当日は好天に恵まれ、無事に日程をこなすことができました。楽しい1日を共有し、クラスや学年の絆を深められたと思います。



## 防災学習

5月2日(火)4限に防災学習・避難訓練を実施しました。

防災学習では、南海トラフ巨大地震についての浸水被害想定や津波到達時間などについて、長谷川先生から講義がありました。その中で、ハザードマップの確認(グーグルで検索をかければ色々出てくる。串本町のHPも)、津波は最短4分でやってくる(津波は普通の波と違い、波高50センチ程度でも大きな力を持つ)、避難場所を家族で確認しておくように、という話がありました。

講義の後で避難訓練を行い、全員で体育館から裏山避難路を登り、促進住宅前へ集合しました。訓練なので全員がスムーズに移動することができましたが、有事に備え、このような訓練を積み重ねておくことが大事です。これから何回か訓練を行います。常に真摯に取り組んで下さい。本番で、訓練以上のことはできません。



## 県知事特別講演

5月19日(金)に仁坂吉伸知事の特別講演会を開催しました。「退屈なら寝てもいい」といわれましたが、もちろん居眠りする人はなく、みんな熱心に耳を傾けていました。

高校生活のアドバイスと社会に出た時に必要なこととして、「深く迷い高く飛べ」や「人生で実験するな」などの話がありました。最後は、人生の大事な局面で役に立つ言葉として、「日々の感激」、「いつか終わる」、「まあいいか」という三つの言葉をあげ、「日々の感激に浸り、つらかったらいつか終わると言い、そして失敗しても「まあいいか」と思う。これが大事なこと」と話して講演を締めくくりました。

また講演の一番最後で、「和歌山で働こう」という話がありました。「和歌山には働く場所がない、和歌山で働いたら損だ」という二つの誤解がある。たしかに初任給は都会の方が高いが、特に住居費は和歌山の方が安い。こういうことを考えて、しかも自分は何をやりたいか、自分の考えに沿って、みなさん、進路を考えて下さい。」と語られました。



## ご紹介します

4月の新任式で、本校に新しく来られた先生方を紹介しましたが、その時に紹介できなかった先生方を、ここで紹介します。(以下は自己紹介です)

なお潮崎先生と多祢先生は、昨年度に続いての勤務となります。

### ○松本英明 (串本古座高等学校地域協議会コーディネーター)

串本古座高等学校地域協議会のコーディネーターとして4月から勤務しています。平成45年3月に串本高等学校普通科を卒業しました。卒業アルバムをめくるとその頃の出来事として、「アポロ11号の月面着陸」や「東名高速道路全通」などが掲載されています。また大阪で万国博覧会が開催されたのもこの頃でした。40年以上の歳月を経て母校に足を踏み入れましたが、当時とは全く変わっていて、かろうじて古い体育館のみが当時を思い出させてくれています。そういえば中庭の「笛を吹いている白い像」はなぜか記憶に残っていますが、当時のものでしょうか??



私は串本高等学校を卒業後、串本町役場に奉職しました。当時は民間企業の景気が良くなりつつある時代で、「民間へ、民間へ」と人材が流れた時代でもありました。私は建設課に配属され「技師補」として、林道、農道の測量や設計、現場管理の手伝いなどをしていました。初任給は確か2万円弱ぐらいだったと思いますが、初給料でオープンリールのテープレコーダーを購入した記憶があります。

役場では建設課を皮切りに、環境保健課、教育委員会、企画財政課、合併協議会、企画課、総務課、商工農林課、古座川病院、福祉課と、数えれば10の職場を回っていました。

定年退職後、こうして串本古座高等学校地域協議会コーディネーターの役割をいただき、母校で仕事をすることになりましたが、私たちの時代からは想像もできない生徒の激減ぶりで、これには驚きました。地域協議会は魅力ある串本古座高校づくりに寄与することを目的とした団体ですので、現在学校が取り組んでいる「全国募集」に関わりながら、職員の方々と共に元気な学校づくりのお手伝いをしていきたいと考えていますので、皆さんのご指導とご協力をよろしくお願いいたします。

### ○潮崎伸彦 (就職支援員)

昨年4月より本校でお世話になっております。潮崎伸彦と申します。年齢は満65歳、出身は潮岬です。串本高校を卒業後、大阪中央郵便局勤務を経て串本町役場で40年間勤めました。私は現在、就職指導員ということで勤務させていただいており、求人のお願ひとか、本校から就職した生徒の様子をお聞きしたりということで、主に近隣の各企業を訪問しています。7月からは企業から本年度の求人票が一気に届きますので、その情報を皆さんにお知らせできるよう、書類を整理したり、時には就職面接の練習なども行っていきます。普段はキャリア形成・支援室(旧進路指導室)で勤務しておりますので、気軽に声をかけて下さい。最後に、私の趣味は磯釣り(地磯)です。主にグレとイカ釣り



(地磯)です。主にグレとイカ釣り

### ○多祢興平 (スクールカウンセラー 臨床心理士)

私は今年4月で63歳になりました。田舎生まれの田舎育ちです。山に虫取りに行き、川に魚取りに行き山川が遊び場でした。先輩や後輩と年齢の違う友人と遊びました。

高等学校に入学と同時に親元を離れ下宿生活を始めました。同級生や先輩と遊ぶことが多かったです。

私の一冊、「オオカミよ、なげくな」Farley Mowat 著(現代では「狼が語る ネバー・クライ・ウルフ」というタイトルになっています。)

クライアントを理解するように努め、寄り添い、一緒に考えていきたいと思ひます。

よろしくお願いいたします。

